

2004年4月から2011年10月までに当院に発症から7日以内に脳出血で入院された患者さんへのお知らせ

「血液透析患者における急性期脳出血の臨床的特徴に関する研究」に関する情報開示

平成23年11月1日
川崎医科大学附属病院
脳卒中科 下山 隆

血液透析患者さんでは脳梗塞よりも脳出血の発症率が高いと報告されています。しかし、全部の脳出血患者さんの中にどれぐらい血液透析を受けている方がいるのか、また画像所見（CT、MRI）の特徴や、どの程度後遺症が残るかは詳しく分かっていません。そこで当院に入院された脳出血患者さんを対象にして、血液透析を受けられている方の割合や、画像検査の特徴およびその後の日常生活の状況などについて、患者さんの診療データを用いて後方視的調査研究を実施することにいたしました。

具体的には2004年4月から2011年10月までに当院に入院された発症7日以内の脳出血患者さんを対象としております。診療で得られた、臨床情報や画像（CT、MRI）所見と脳卒中の重症度スケールを比較して検討を行います。今回、この研究を行なうことについて患者さんのご理解とご協力を賜りたく存じます。またこの研究で得られた内容を学会や科学雑誌で公表することにつきましてもご了承いただきたく存じます。患者さんの情報については個人名や個人を特定できるデータは伏せており、当院の個人情報保護規定に従って厳密に管理し、第三者が閲覧することはありません。また、この研究で患者さんは不利益を被ることはないと考えております。なお本研究は当院倫理委員会の承認を得ております。利益相反については、当院利益相反委員会に自己申告書を提出し承認を得ております。この研究に対して、ご質問がある方は、下記担当者までご連絡ください。

担当： 川崎医科大学 脳卒中医学教室 臨床助教 下山 隆
岡山県倉敷市松島 577 TEL：086-462-1111
FAX：086-464-1128